令和７年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人二宮町社会福祉協議会

令和７年度事業報告書　目次

令和７年度二宮町社会福祉協議会事業報告

Ⅰ．社会福祉事業

１．法人運営事業

(1)法人運営事業　1～7

(2)広報事業　8

(3)社会福祉大会事業　9～10

(4)助成事業　11

(5)心配ごと相談所事業　12

(6)ボランティアセンター事業　13～16

(7)地域福祉活動推進事業　17～18

(8)共同募金配分金事業　19～20

(9)福祉サービス利用援助事業　21～22

(10)緊急通報システム事業　23

(11)ファミリーサポートセンター事業　24～25

(12)生活福祉資金貸付事業　26

(13)緊急援護資金貸付事業　26

(14)基金積立事業　27

(15)善意銀行　27

(16)生活支援体制整備事業　28～29

２．ヘルパーステーション事業

(1)居宅介護支援事業　30

(2)訪問介護事業　31～33

３．障害福祉サービス事業

(1)就労継続支援事業　34～35

(2)指定特定相談支援事業　36

Ⅱ．公益事業

1．ともしびショップ運営事業

(1)ともしびショップ運営事業　37～38

2．地域包括支援センター事業

(1)地域包括支援センター事業　39～45

令和7年度　二宮町社会福祉協議会事業報告

近年、少子高齢化の急速な進行、住民相互のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く環境は益々厳しさを増し、地域活動の中心であった団体の解散、福祉団体の活動縮小等、各種団体の担い手不足が深刻化している状況です。

だからこそ社協では地域の皆様と共に「誰もがつながるまち　にのみや」のために尽力していきたいと考えております。

令和７年度　重点目標

１　地区社協活動や「地域の通いの場」の充実支援（継続事業）

２　大規模災害に備えた地域防災力の向上と支援体制の強化

３　総合的な相談支援体制と情報提供の機能強化

４　成年後見制度の普及・利用支援

令和年度は上記の４つを重点目標に掲げて事業を実施いたしました。

１　地区社協活動や「地域の通いの場」の充実支援（継続事業）

地区社協活動については、地区社協部会連絡会において各地区の部会長と意見交換や情報共有し、地域の通いの場を継続していくための方策を検討しました。

各地区の通いの場の見学会等具体的な情報共有の必要性が認識され、令和 8 年度に見学会を実施することになりました。 社協では今後も地域の繋ぎ役と、町補助金申請に関係する取りまとめや通いの場で開催される講座等の提案、日程調整等の後方支援を中心に実施し、これからも通いの場の継続の一助となるよう努めていきます。

２　大規模災害に備えた地域防災力の向上と支援体制の強化

社協としての災害時の職員の行動のマニュアル化や災害ボランティアセンター開設に関わる部分の情報整理、確認を進めています。

社協では、災害救援ボランティアによる被災時の支援と社協事業を再開し実施する日常からの相談支援等の大きく２つの役割を担うことになりますので、早期の支援実施や事業再開が図れるよう、体制整備を進めて参ります。

３　総合的な相談支援体制と情報提供の機能強化

相談体制の充実・強化のため、各事業で研修の参加や他事業所等との情報交換等を行い、対応する職員の質の向上を図りました。社協では、SNSを通じてのリアルタイムな情報提供をするとともにホームページの見直しを実施し、情報発信に努めました。

4　成年後見制度の普及・利用支援

法人後見事業の本格稼働に向けては進捗が滞ってしまっています。

しかしながら、実施社協等との情報交換や会議等への出席によって情報収集は続けております。

今後は、国、県の動向を踏まえ、組織的な動きを考慮しながら、町担当課と連携し体制の整備を進めていく予定です。

現在、権利擁護支援関係の相談については、地域包括支援センターと日常生活自立支援事業の相談支援の中で対応しています。

Ⅰ．社会福祉事業

１．法人運営事業

（1）法人運営事業

①役員会

〇理事会

令和7年度事業報告及び会計監査、帳簿の監査

開催日時と議事は下記のとおり。場所は二宮町社協第1会議室。

令和7年6月3日 議事　1．令和7年度事業報告について 2．令和7年度収支決算及び会計監査報告について 3．評議員候補者の推薦について 4．役員選任議案の評議員会への提出について 5．評議員選任・解任委員の選任について 6．令和7年度第1回定時評議員会の招集について	理事8名・監事2名出席
令和7年6月25日 議事　1．会長（理事長）の選任について 2．副会長の選任について	理事9名・監事2名出席
令和7年8月7日 議事　1．協議会の人事について	理事10名・監事1名出席
令和7年11月8日 議事　1．令和7年度収支補正予算（第1号）（案）について 2．令和7年度第2回評議員会の招集について 報告事項 1．会長（理事長）の職務執行状況報告（3月～10月）について 2．令和7年度予算執行状況（4月～9月）について 3．第43回二宮町社会福祉大会の結果について	理事8名・監事2名出席
令和8年3月3日 議事　1．令和7年度収支補正予算（第2号）（案）について 2．令和8年度事業計画（案）について 3．令和8年度収支予算（案）について 4．令和7年度第3回評議員会の招集について 報告事項 1．会長（理事長）の職務執行状況報告（令和7年4月～令和8年2月）について 2．基金及び積立金の運用状況について	理事8名・監事2名出席

〇理事部会
　事業の能率的かつ活動的な推進と運営を図るため、理事部会を開催。

・財務部会、企画運営部会合同会議

・企画運営部会

・広報部会

令和7年4月17日 場所　二宮町社協　第2会議室 資料　1．社協にのみや152号について 　　2．令和7年度広報部会予定表について	理事3名出席
令和7年4月30日 場所　二宮町社協　第2会議室 資料　1．社協にのみや152号について	理事3名出席
令和7年7月9日 場所　二宮町社協　第2会議室 資料　1．社協にのみや153号について	理事3名出席
令和7年8月4日 場所　二宮町社協　第2会議室 資料　1．社協にのみや153号について	理事3名出席
令和7年11月4日 場所　二宮町社協　第2会議室 資料　1．社協にのみや154号について	理事3名出席
令和7年12月2日 場所　二宮町社協　第2会議室 資料　1．社協にのみや154号について	理事2名出席

〇監事会

場所	二宮町社協　第2会議室 令和7年度事業報告及び会計監査、帳簿の監査 監事2名出席

・評価と課題

令和7年度実績		理事会等を年間計画どおり開催し、法人の適切な意思決定を図ることができた。
第3次計画	位置づけ	―
	計画の進捗 評価と課題	【達成事項】 ― 【未達成事項】 ―

②評議員会

諮問機関である評議員会を開催。令和7年度は4回開催。

令和7年6月24日 議事　1．令和6年度事業報告について 2．令和6年度収支計算及び会計監査報告について 3．役員の選任について	評議員10名出席
令和7年11月25日 議事　1．令和7年度収支補正予算書（第1号）（案）について 報告事項 1．令和7年度予算執行状況（4月～9月）について 2．第43回二宮町社会福祉大会の結果について	評議員10名出席
令和8年3月24日 議事　1．令和7年度収支補正予算書（第2号）(案)について 2．令和8年度事業計画書（案）について 3．令和8年度収支予算書（案）について 報告事項 1．基金及び積立金の運用状況について	評議員12名出席

〇役員・評議員研修

事業の円滑な運営と組織の強化を目的として実施。

・評価と課題

令和7年度実績		評議員会を年間計画どおり開催し、法人の適切な意思決定を図ることができた。
第2次計画	位置づけ	5-(1)-1　役員会の組織運営体制の強化
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 【未達成事項】

①事務局運営事業

各種社協事業の管理運営、事務所の管理、会員会費、共同募金活動等を実施。

〇社協会員会費

・地区社協部会を中心とする会員・会費の納入状況

一般会員会費	7,062.4	口	×	500	円	＝	3,531,200	円
賛助会員会費	42.0	口	×	2,000	円	＝	84,000	円
特別会員会費	28.0	口	×	5,000	円	＝	140,000	円
合計	7,132.4	口				①	3,755,200	円

・町社協にて福祉団体を中心とする会員・会費の納入状況

一般会員会費	2	口		×	500	円	=	1,000	円
賛助会員会費	6	口	（会員数 6 ）	×	2,000	円	=	12,000	円
特別会員会費	31	口	（会員数 20 ）	×	5,000	円	=	155,000	円
合計	39	口					②	168,000	円

・令和7年度社協会員会費総額 （①＋② ＝ 3,923,200 円）

（前年度 4,172,700 円） △ 249,500 円

〇赤い羽根共同募金・年末たすけあい募金

・赤い羽根共同募金	1,752,958 円	
・年末たすけあい募金	1,873,319 円	
合計	3,626,277 円	
（前年度	3,845,584 円）	△ 219,307 円

〇行路人への旅費支援

年間 32 件 総額 8,000 円 援護 （前年度 6,250 円）

※1件250円貸与（近隣の支援場所である平塚市、小田原市までの電車代を想定）

〇車椅子の貸出し

年間 52 回 （前年度 73 回）

・評価と課題

令和7年度実績		必要な備蓄品について購入を進め、災害時の備えを行った。 次年度には、組織全体での防災訓練の実施を予定しており、さらなる災害対策の強化を図る。
第３次計画	位置づけ	基本目標3　・災害に備えたマニュアル等の整備
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】・災害に備えたマニュアル等の整備を進めた。 【未達成事項】 ―

②退職金積立事業

職員の退職金の積立を実施。

・評価と課題

令和7度実績		適正な積立及び支給を実施。
第３次計画	位置づけ	－
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ― 【未達成事項】 ―

③災害見舞金事業

火災等の災害にあった家庭に対し支給した。

見舞金の支給 1件　　200,000　円　　（前年度　39 件）

・評価と課題

令和7度実績		被災者に災害見舞金を支給した。
第３次計画	位置づけ	2-（3）-1　　災害見舞金の迅速な支給
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・二宮町災害弔慰金の支給等に関する条例（昭和50年３月20日条例第２号）による災害弔慰金等の支給対象者との整合を図った。 【未達成事項】 ―

（2）広報事業

①広報紙発行事業

広報紙「社協にのみや」、社協会員募集チラシ、共同募金の報告チラシの発行、全戸配布を実施。

○広報紙「社協にのみや」の発行　年3回（全戸配布） 令和7年　5月23日　　第152号発行 令和7年　8月25日　　第153号発行 令和7年 12月25日　　第154号発行
○チラシの配布 ・「令和7年度二宮町社協会員募集のご案内と会費のお願い」（全戸配布）　令和7年7月～9月 ・「令和7年度共同募金の報告」（全戸配布）　令和8年3月24日

・評価と課題

令和7年度実績		紙面のレイアウトを工夫し、見やすい広報紙の作成に努めた。記事の内容の精査を行い年3回の発行をした。
第3次計画	位置づけ	基本目標3 施策（4）　・分かりやすく、読みやすい広報紙の作成
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・社協事業や関係団体の情報等を掲載し、町内の福祉の情報発信に努めた。 【未達成事項】 ・読者ニーズの把握が課題となっている。

②ホームページ事業

社協ホームページの運営を実施。

○ホームページの運営 ・ 令和7年2月に社協ホームページのリニューアルを実施し、分かりやすい情報発信を継続している。 ・ SNSの活用としてInstagramを運用し、タイムリーな情報発信に務めた。 ・ ともしびショップランチメニュー、登録ボランティア「にのみや声の広報」による広報紙の音声ファイル、社協にのみやの掲載を継続している。

・評価と課題

令和7年度実績		ホームページの定期的な更新。SNSの活用に努めた。
第3次計画	位置づけ	基本目標2　・閲覧しやすい、欲しい情報にアクセスしやすいホームページづくり ・SNSによる適時的な情報発信
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・社協ホームページを見やすく、必要な情報の取得が容易にできるようリニューアルし、リンクの設定も容易にできるようにした。 ・SNSの活用としてInstagramも運用し、タイムリーな情報発信に務めた。 【未達成事項】 ・ホームページ情報内容の更新の定期的な対処が課題。

（3）社会福祉大会事業

①福祉のつどい事業

町の福祉の祭典として社会福祉関係団体やボランティアの協力のもと、生涯学習センターラディアンで令和7年9月27日に実施。

ホールでは午前中に表彰式、映画上映、午後に後援会を実施した。

また、ラディアン館内とイベント広場では福祉関係団体の活動発表やバザー、模擬店等を実施した。

○福祉講演会 内容：ドキュメンタリー映画・講演会 講師　映画監督：信友　直子氏 「ぼけますから、よろしくお願いします。」
○バザー ・参加団体 手をつなぐ育成会、シルバー人材センター 社協登録ボランティア団体（児童部）、カンナカンナ
○展示・啓発 ・参加団体 一色小学校、二宮小学校、山西小学校、二宮西中学校、二宮寿考会、手話サークル連絡協議会 民生委員児童委員協議会、ゆめクラブ連合会、神奈川県社会福祉士会湘南西支部、 たすけあいワーカーズ大空、平塚保健福祉事務所、 平塚地域歯科衛生士の会「歯みんぐ」、二宮町保護司会、 人権擁護委員連絡協議会、社協登録ボランティア団体(話し相手、子ども学習支援「こむ」)、 信愛、地区社協部会連絡会、地域包括支援センターなのはな
○模擬店 ・参加団体 湘南ウエスト大磯二宮介護保険事業者連絡会、大磯地区更生保護女性会二宮支部、 メゾン・二宮、コスタ二宮、手をつなぐ育成会、手話サークルカナリヤの会、ともしびショップなのはな
○福祉体験スタンプラリー(参加者：延べ300名) ・参加団体 老人福祉部、心身障がい部、点字の会、声の広報、手話サークル連絡協議会、信愛 「要約筆記サークル」「てーくとーく」、人生わくわく船

・評価と課題

令和7年度実績		全体で35団体、1,200名の方が参加。文化活動発表会の発表者は学生の参加もあり、広い世代の参加者が増えた。
第3次計画	位置づけ	基本目標1　・福祉団体の主体的な参画連携強化 ・福祉への理解を深めるための啓発と福祉を身近に感じてもらえる企画の実施
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・参加団体と福祉関係団体との連携強化が図れた。 ・多くの参加団体による福祉関係の啓発や、福祉体験スタンプラリー等を通して、福祉を身近に感じてもらえる機会となった。 【未達成事項】 ―

②顕彰表彰事業

ラディアンホールにて社会福祉関係功労者の表彰を実施。

○表彰式 令和　7 年 9 月 27 日 受賞者　　功労表彰　4 名　　善行表彰　11 名　　感謝表彰　5名
○社会福祉功労者表彰選考委員会 令和　7 年 8 月 29 日 場所　　二宮町社協 第1会議室 議事 1.　令和7年度功労表彰被表彰者の選出について 2.　令和7年度善行表彰被表彰者の選出について

・評価と課題

令和7年度実績		対象者の積極的な掘り起こしを行い、社会福祉大会で表彰した。
第3次計画	位置づけ	基本目標1　・福祉分野における功労者の表彰
	計画の進捗 評価と課題	【達成事項】・9月27日に福祉の祭典として社会福祉大会を実施し、福祉分野における功労者の表彰を行った。 【未達成事項】 ー

（4）助成事業

福祉団体へ活動費等の助成を実施。

①更生保護女性会助成事業

大磯地区更生保護女性会二宮支部	助成額	20,000 円

・評価と課題

令和7年度実績		活動費の助成を行った。
第３次計画	位置づけ	1-（1）-2　犯罪や非行のない地域づくりに取り組む団体・活動の支援
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・団体へ活動費を助成して団体活動の円滑化を図った。 【未達成事項】 ー

②社会を明るくする運動助成事業

大磯・二宮保護司会	助成額	20,000 円

・評価と課題

令和7年度実績		保護司会が行う社会を明るくする運動へ助成を行い、また社会を明るくする運動をはじめとする行事に社協として参加した。
第３次計画	位置づけ	1-（1）-2　犯罪や非行のない地域づくりに取り組む団体・活動の支援
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・犯罪や非行のない地域づくりに取り組む活動を支援し、地域福祉の推進により犯罪予防と更生援助を行うキャンペーンに協力した。 【未達成事項】 ー

（5）心配ごと相談所事業

①心配ごと相談所事業

町民の心配ごとを解決に導くために毎月第4木曜日13時～16時に心配ごと相談を実施。

〇開催日数　　12日

〇相談員のべ人数

民生児童委員　30　名	人権擁護委員　24　名	行政相談員　13　名
合　計　67　名		

〇相談件数　　11件　（前年度2件）

〇相談内容及び件数

家族	精神衛生	人権法律	苦情
8	1	2	0
合　計　11			

・評価と課題

令和7年度実績		家族関係、住宅のことなど町民の方の心配ごとの相談を受け助言を行った。 相談関係書籍の配架や広報紙への記事掲載、所内掲示物の設置など心配ごと相談事業のPRを行った。
第3次計画	位置づけ	基本目標3　・身近な相談所として町民に広く周知 施策（3）　・町と連携し、相談所としての機能を強化
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・身近な相談所として年12回開催。また広く周知するため、社協広報紙への掲載を実施した。（年3回） 【未達成事項】 ―

（6）ボランティアセンター事業

ボランティア育成のために各種事業を実施した。

①ボランティア活動連絡調整事業

〇社協登録ボランティア団体（12団体が登録）

1.	老人福祉部	7.	要約筆記サークル 「てーくとーく」
2.	心身障がい部	8.	二宮町手話サークル連絡協議会「うさぎの会」「カナリヤの会」
3.	児童部	9.	日本車椅子レクダンス協会・二宮支部
4.	話し相手	10.	オリーブ・ボッチャ
5.	にのみや声の広報	11.	子ども学習支援「こむ」
6.	二宮点字の会	12.	人生わくわく船

〇ボランティア登録状況

・団体登録　41団体　594名　（前年度　41団体　594名）

・個人登録　13名　（前年度　14名）

〇町・団体・学校からの要請に対応

開　催　日	内容	対象
令和7年10月21日	二宮小学校 手話体験	4年生　約70名
令和7年12月3日	一色小学校 高齢者疑似体験、車いす体験	4年生　約60名
令和7年12月12日	二宮西小学校 高齢者疑似体験、車いす体験	2年生　約60名

②ボランティアグループ助成事業

〇ボランティアグループの活動費を助成

・心身障がい部	30,000 円	（ カンナカンナ交流会開催費用、消耗品 ）
・児童部	99,400 円	（ 材料費、ミシンメンテナンス料 ）
・ 子ども学習支援「こむ」	63,100 円	（ 教科書、雑費 ）
・要約筆記サークル「てーくとーく」	10,500 円	（ USBメモリ他）
・手話サークル連絡協議会	10,000 円	（ 外部講師料）
・人生わくわく船	120,000 円	（ 寺子屋開催費用）
・オリーブ　ボッチャ	128,600 円	（ ボッチャ備品購入費）

・評価と課題

令和7年度実績		活動費の助成を行った。
第３次計画	位置づけ	基本目標１　・善意銀行や年末たすけあい募金による財源を基にボランティア活動を支援 施策（４）
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・社協登録ボランティアグループへ、活動費を助成し活動の円滑化を図った。 【未達成事項】 ー

○ボランティアセンター情報交換会の開催

令和7年5月15日　二宮町社協　第1会議室 打合わせ事項 1．令和7年度ボランティア入門講座について 2．夏休み福祉体験について 3．令和7年度社会福祉大会ふれあい福祉のつどいについて
令和7年8月8日　二宮町社協　第1会議室 打合わせ事項 1．令和7年度ボランティア入門講座について 2．夏休み福祉体験について 3．令和7年度社会福祉大会・ふれあい福祉のつどいについて 4．令和7年度ボランティア団体活動費助成について
令和7年12月4日　二宮町社協　第1会議室 打合せ事項 1．令和7年度社会福祉大会・ふれあい福祉のつどい振り返りについて 2．ボランティア入門講座開催時期について 3．令和8年度登録ボランティア団体活動費助成について
令和8年3月5日　二宮町社協　第1会議室 打合せ事項 1．令和8年度ボランティア入門講座について 2．夏休み福祉体験について 3．令和8年度登録ボランティア団体活動費助成について 4．令和8年度ボランティアセンター年間予定について

〇夏休み福祉体験

開　催　日	内容	参加者
令和7年8月1日	展示体験 視覚障がい者の方の情報伝達体験 認知症サポーター養成講座	7名

〇災害VC立上げシミュレーション

令和7年度実績		ボランティア入門講座や夏休み福祉体験を実施した。登録ボランティア団体との情報交換会を実施し情報の共有を図った。
第３次計画	位置づけ	基本目標１　社協登録ボランティア（団体）との協働によるボランティアの育成 基本目標２　・若年層やシニア層の活動参加の促進 ・ニーズの把握とコーディネーターの機能の強化 ・災害ボランティアやコーディネーターの育成 基本目標３　・災害VC（ボランティアセンター）立上げのシミュレーション、災害時行動マニュアルの整備
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・ボランティア入門講座や夏休み福祉体験を実施し、若年層やシニア層の活動参加を促した。 【未達成事項】 ・若い世代に向けたボランティア関連事業の実施。

（7）地域福祉活動推進事業

地域住民が安心して生活できる地域づくりの一助となるべく活動を実施。

①地区社協部会運営事業

〇11地区社協部会活動運営費

地区社協部会の運営に要する費用を交付し、11地区社協部会の充実を図った。

※交付額は地区ごとの社協会費の40%、地域の通いの場運営費（注）、地域福祉活動推進費の合計額

（注）地域の通いの場運営費は、月4回以上開催している地域の通いの場1か所につき3万円。
ただし、2か所に分けて月4回以上開催している地区社協部会には、1か所分として3万円。

一色・緑が丘地区	250,000 円	上町・中町地区	189,000 円
百合が丘地区	277,000 円	下町地区	240,000 円
中里地区	233,000 円	梅沢地区	195,000 円
元町北地区	217,000 円	越地・釜野地区	206,000 円
富士見が丘・松根地区	270,000 円	茶屋・川匂地区	227,000 円
元町南地区	213,000 円		
合　計			2,517,000 円

（前年度　2,656,000 円）

〇地区社協部会連絡会議の開催

連絡会議は年5回開催。　※議題内容は下記のとおり

・連絡会議

令和7年4月22日
会場　二宮町社協　第一会議室
議題　1. 役員の選出について
2. 令和7年度の年間予定について
連絡事項　1. 令和7年度地域の通いの場について
その他意見交換

令和7年6月10日
会場　二宮町社協　第一会議室
議題　1. 令和7年度二宮町社協会員募集とご協力のおねがいについて
2. 地域の通いの場の実績報告について
連絡事項　1. 令和7年度赤い羽根共同募金について
2. 地域の通いの場について
3. 二宮町高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画について
4. 生活支援体制整備事業について
その他意見交換　1. 地区社協部会の運営方法について

令和7年8月21日
二宮町社協　第一会議室
議題　1. 令和7年度赤い羽根共同募金のご協力のおねがいについて
連絡事項　1. 地域の通いの場について
2. 第43回社会福祉大会・ふれあい福祉のつどいについて
その他意見交換　1. 地区社協部会の運営方法について

令和7年11月11日
会場　二宮町社協　第一会議室
議題　1. 令和8年度地域の通いの場について
連絡事項　1. 令和7年度年末たすけあい援護資金について
その他意見交換　1. 地区社協部会の運営方法について

令和8年2月3日
会場　二宮町社協　第一会議室
議題　1. 令和8年度地域の通いの場について
2. 令和7年度社協会員会費の報告および令和7年度運営費の交付について
3. 令和7年度共同募金の報告および令和7年度共同募金配分金の交付について
連絡事項　1. 各種提出書類について
1. 令和7年度年末たすけあい援護資金（年末たすけあい募金）の配分結果について
その他意見交換　1. 地区社協部会の運営方法について

・評価と課題

<table>
<tr><td colspan="2">令和7年度実績</td><td>地区社協部会連絡会では、会議の開催内容をあらため、引き続き意見交換に重点を置き進めてきた。地区社協部会の運営方法やあり方、活動内容について、担い手不足などさまざまな内容について議論を交わした。今年度の成果を取りまとめ、引き続き次年度も課題解決に向けた議論を進めていく。
地域の通いの場については、地域のみなさまの理解と協力のもと活動を継続することができ、健康づくりおよび交流の場、または生活支援の情報発信の場として重要な役割を果たすことができた。また、町と連携し、支援を絶やさず、活動を継続するための一助となるよう努めた。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第3次計画</td><td>位置づけ</td><td>基本目標2
施策（1）
・住民意識の啓発と住民の自助活動の促進
・地域で資源整理、課題抽出等を進め、地域での問題解決力の向上
・地域における団体活動を支援

基本目標2
施策（2）
・地域交流の場として、通いの場の機能充実

基本目標2
施策（4）
・地区社協の相互連携と効果的な地域福祉活動のあり方の検討
・「オール地域づくり」の推進と地区社協のあり方の検証・検討</td></tr>
<tr><td>計画の進捗
評価と課題</td><td>【達成事項】
・「地域の通いの場」の開催内容などを町、社協の広報紙に掲載した。
・「地域の通いの場」のチラシを作成し、各関係施設に配架または、住民に配布した。
・生活支援に関わる様々なテーマの出前講座を開催、または関係団体との連絡調整を行い、通いの場の開催支援を実施した。
・地区社協部会連絡会において意見交換を実施し、地区間の交流を深め、連携の強化を図った。
・地区社協の運営方法やあり方の検証・検討

【未達成事項】</td></tr>
</table>

（8）共同募金配分金事業

①年末たすけあい募金配分金事業

年末たすけあい募金の配分について検討・実施した。

〇令和7年度年末たすけあい募金の配分

年末たすけあい募金総額　1,873,319 円

【 配分先 】

・要援護世帯への配分

87件　435000　（前年度　92件　530,000円）

（ 内訳: 児童扶養手当受給世帯 10件、身体障害者手帳保持者（1・2級） 53件
療育手帳保持者（A1・A2） 12件、要介護認定5 12件 ）

・施設配分　町内福祉施設　50,000 円
町内福祉施設　30,000 円

・事務費　0 円

・翌年度地域福祉事業費　1,358,319 円 （令和7年度事業分）

〇翌年度地域福祉事業費の配分

地域福祉団体助成事業費　1,390,000 円 （令和7年度募金分）

・11地区社協部会活動事業　550,000 円

1	一色・緑が丘地区	50,000 円	7	上町・中町地区	50,000 円
2	百合が丘地区	50,000 円	8	下町地区	50,000 円
3	中里地区	50,000 円	9	梅沢地区	50,000 円
4	元町北地区	50,000 円	10	越地・釜野地区	50,000 円
5	富士見が丘・松根地区	円	#	茶屋・川匂地区	円
6	元町南地区	50,000 円			
				合　計	550,000 円

・地域の通いの場　390,000 円

1	一色・緑が丘地区	60,000 円	7	上町・中町地区	30,000 円
2	百合が丘地区	60,000 円	8	下町地区	30,000 円
3	中里地区	30,000 円	9	梅沢地区	30,000 円
4	元町北地区	30,000 円	10	越地・釜野地区	30,000 円
5	富士見が丘・松根地区	30,000 円	11	茶屋・川匂地区	30,000 円
6	元町南地区	30,000 円			
				合　計	390,000 円

・地域福祉活動事業　150,000 円

ゆめクラブ連合会	50,000 円	身体障害者福祉協会	50,000 円
手をつなぐ育成会	50,000 円	合　計	150,000 円

・地域福祉推進団体　300,000 円 （6団体へ配分）

・評価と課題

<table>
<tr><td colspan="2">令和7年度実績</td><td>要援護世帯および町内福祉施設への支援や地域福祉団体への助成を行った。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第3次計画</td><td>位置づけ</td><td>基本目標1
施策（4）　・ボランティア活動の支援

基本目標2
施策（1）　・当事者団体の活動支援

基本目標3
施策（4）　・地区社協の活動支援</td></tr>
<tr><td>計画の進捗
評価と課題</td><td>【達成事項】
・要援護世帯および町内福祉施設や地域福祉団体への配分を行った。

【未達成事項】
ー</td></tr>
</table>

（9）福祉サービス利用援助事業　　（県社協受託事業）

①日常生活自立支援事業

判断能力が十分でない認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者、身体障がい者に対し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理サービス、書類等預かりを実施した。

〇相談・サービス提供状況

1．相談・相談援助件数

対象者(人) 事項	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	身体 障害者等	その他	合計
問合せ	5	2	4	0	0	11
初回相談	3	1	2	1	0	7
相談援助	12	0	18	3	0	33
令和7年度	20	3	24	4	0	51
令和6年度	30	35	104	62	0	231
増減	△ 10	△ 32	△ 80	△ 58	0	△ 180

2．サービス利用者数

	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	身体 障害者等	その他	合計
令和7年度	7	3	8	2	0	20
令和6年度	5	0	1	0	0	6
増減	2	3	7	2	0	14

3．福祉サービス利用支援・金銭管理件数

	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	身体 障害者等	その他	合計
令和7年度	7	3	8	2	0	20
令和6年度	5	0	1	0	0	6
増減	2	3	7	2	0	14

4．書類等預かり

	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	身体 障害者等	その他	合計
令和7年度	1	1	0	0	0	2
令和6年度	0	0	0	0	0	0
増減	1	1	0	0	0	2

〇事業の周知活動

事業を周知するため資料の配布や記事掲載と民生委員に事業説明を実施した。

実施時期	実施内容	対象者	対象人数
令和7年12月	広報紙「社協にのみや」に事業紹介記事を掲載	二宮町民	全戸配布
令和8年1月	民生委員研修（事業説明）	民生委員	47人

・評価と課題

令和7年度実績		生活支援員による契約者への支援を実施した。 関係機関からの依頼、問合せが増加し、契約者数も増加した。
第３次計画	位置づけ	基本目標1　・契約者の自立に向けた支援の実施。 施策（2）　・社協にのみや等で事業の周知を実施。
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・契約者の自立に向けた支援の実施。 【未達成事項】 ・関係機関への事業の理解の促進

（10）緊急通報システム事業　　（町補助事業）

①緊急通報システム事業

町内在住で65歳以上のひとり暮らしの高齢者を中心とした、日常生活において見守りが必要な状態にある方に対して必要な機器を設置し、24時間対応の駆け付け員およびセンターの専門職による緊急対応や、健康・生活の悩み事などの相談業務を行った。
システムの運用については、綜合警備保障株式会社に委託している。

令和5年度末　　264件（前年度より59件増）
令和6年度末　　288件（前年度より24件増）
令和7年度末　　308件（前年度より20件増）

〇緊急通報システム利用者数及び通報件数（ 綜合警備保障株式会社 ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数（月初）	289	292	290	292	292	291	292	297	302	296	302	308	3543
新規設置件数	5	5	1	6	1	4	4	9	8	0	10	6	59
撤去件数	4	2	3	4	1	5	3	4	3	6	4	0	39
非常通報件数	6	11	11	6	11	0	5	9	3	6	7	8	83
ﾗｲﾌﾘｽﾞﾑ通報件数	9	12	17	16	12	0	12	6	3	9	13	0	109
火災通報件数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
その他	7	5	13	10	13	0	4	8	9	17	11	4	101

・評価と課題

令和7年度実績		申請により、機器の貸出および設置を行い、見守り体制の整備を図った。また、町と連携し、制度の周知を図り、利用者数が増え多くの方が利用されている。
第３次計画	位置づけ	基本目標3　・シルバー緊急通報システムの設置による見守り体制の充実と制度の周知
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・民生委員の協力により、高齢者をはじめ多くの方へ制度の周知を図った。 ・ホームページや広報紙、町内掲示板を活用し多くの方へ制度の周知を図った。 ・町と連携し、地域の通いの場、または各団体へ制度の説明を行い、周知を図った。 【未達成事項】 ―

（11）ファミリーサポートセンター事業　　（町受託事業）

①ファミリーサポートセンター事業

会員相互の幼児、児童の一時預かりや送迎などの子育て支援を実施するファミリーセンターの運営を行った

○会員登録数

会員種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	今年度	前年度末	累計
まかせて会員	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5	86	91
おねがい会員	0	2	2	0	0	0	0	0	1	2	1	2	10	140	150
両方会員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
合計	0	2	2	0	5	0	0	0	1	2	1	2	15	230	245

○活動件数

就学	活動内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
未	保育所・幼稚園の送り			17	21	15	19	21	13	17	11	16	15	165
未	保育所・幼稚園の送り＋預かり										2			2
未	保育所・幼稚園の迎え	3	3	19	22	15	19	22	13	18	14	24	22	194
未	保育所・幼稚園の迎え＋預かり	4	5	2	6	11	23	21	11	2	19	14	21	139
未	習い事の送迎									1	1			2
未	習い事の送迎＋預かり													0
未	上記以外の送迎や預かり等	1	4	6	5	5	6		2	2	6	16	18	71
小	学校（登校班場所）の送り	9	8	6	5		7	8	7	6	7	7	2	72
小	学校（登校班場所）の送り＋預かり	2	2	3	4		5	4	1	1		1		23
小	学校の迎え													0
小	学校の迎え＋預かり													0
小	学童の送り				1	7							1	9
小	学童の送り＋預かり				1	10			1	2			2	16
小	学童の迎え													0
小	学童の迎え＋預かり	15	14	20	12	11	11	10	7	9	3	7	6	125
小	習い事の送迎	17	17	19	19	13	17	16	13	11	15	12	13	182
小	習い事の送迎＋預かり													0
小	上記以外の送迎や預かり等										1			1
	その他													0
	合　計	51	53	92	96	87	107	102	68	69	79	97	100	1,001

29年度件数計	1,530 件	648 件減
30年度件数計	1,642 件	112 件増
1年度件数計	1,112 件	530 件減
2年度件数計	600 件	512 件減
3年度件数計	890 件	290 件増
4年度件数計	719 件	171 件減
5年度件数計	711 件	8 件減
6年度件数計	805 件	94 件増

〇まかせて会員養成講座（場所は第１会議室）

令和7年7月28日　　５名 令和7年7月29日　　５名

〇まかせて会員フォローアップ研修会

令和7年12月17日　　10名：「いのちのはなし」助産師

〇まかせて会員懇談会・交流会

令和7年12月17日　　10名：3Dフラワーフォトフレーム

〇会報誌（ファミサポ通信）

令和 7 年 9 月 ・令和 8 年 2 月

・評価と課題

令和7年度実績		まかせて会員は、通年募集をしている。
第３次計画	位置づけ	・支援会員の養成と情報交流・スキルアップ ・子育て支援資源の調査とマップ化 ・制度の継続的な周知
	計画の進捗 評価と課題	【達成事項】 【未達成事項】 ―

（12）生活福祉資金貸付事業　　（県社協受託事業）

①生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、高齢者、身体障がい者世帯、失業者などの相談に対して、相談援助や経済的自立、生活安定のため必要な場合に資金の貸付支援を行った。

相談件数	42 件 （前年度 40件）
貸付件数	5 件 （前年度 2件）

・評価と課題

令和7年度実績		生活相談の受付を行い、相談者の生活状況に応じて資金の貸付支援、または他の 支援機関と連携して自立に向けた支援を行った。また、必要に応じて、フードバンクを活用した食糧支を行った。
第３次計画	位置づけ	基本目標２ ・ひきこもりや生活困窮者の就労や経済支援を県社協等と連携し支援
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・県や県社協などの関係機関と連携し、相談の受付や支援を行った。 【未達成事項】 ー

（13）緊急援護資金貸付事業

①緊急援護資金貸付事業

町民の一時的な困窮に伴う出費に対し、5万円を貸付限度額とし資金の貸付による援護を行った。

〇令和7年度資金貸付状況

相談件数	15 件			
貸付件数	12 件	564,891 円	（前年度23件	1,007,000円）
返済総額		615,891 円	（前年度	509,100円）

・評価と課題

令和7年度実績		生活相談の受付を行い、相談者の生活状況に応じて資金の貸付支援、または他の支援機関と連携して自立に向けた支援を行った。
第３次計画	位置づけ	基本目標２ ・経済支援を県社協等と連携し支援
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・県や県社協などの関係機関と連携し、相談の受付及び貸付を実施した。 【未達成事項】 ー

（14）基金積立事業

社協の安定した事業資金を確保するために基金の積立を行った。また、基金利息を事業費として活用した。

①社会福祉基金積立事業

令和8年3月31日現在		
定期預金	38,984,966 円	
県債	40,000,000 円	
社債	34,000,000 円	
合　計	112,984,966 円	（前年度　88,754,462 円）

・評価と課題

令和7年度実績		適切な運用管理に努めた。県債、定期預金の利息収入減少が著しいため、 今後の運用等についての検討が課題となっている。 運用、基金の活用について規程の整備を進める必要がある。
第３次計画	位置づけ	5-（2）-1　　安定した事業資金の確保に向けた適切な運用管理
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・適切な運用管理に努めた。 【未達成事項】 ー

（15）善意銀行

①善意銀行

社協にいただいた寄託金を財源にボランティアの育成支援を行った。（寄付金は寄付者の意向を汲み、子ども食堂４団体各40,000円計160,000円・カンナカンナに100,000円を配分）

また、寄託品は社協事業に活用した。

寄託品	4 件	・車椅子　1台、御神米30kg、コピー用紙、介護用品
寄託金	13 件	851,230 円 （前年度　416,600 円）

・評価と課題

令和6年度実績		寄託品と寄託金の受付を行い、ボランティア団体の活動支援のため配分を行った。 残高増加に伴い寄託金の活用についての検討が継続的に課題となっている。
第３次計画	位置づけ	1-（3）-1　　・ボランティア活動の支援 ・支援結果のPR・周知 ・運営方法の見直し
	計画の進捗評価	【達成事項】

（16）生活支援体制整備事業　　（町受託事業）

生活支援コーディネーターを中心に、地域における生活支援体制の整備を推進した。

①生活支援体制整備事業

〇お互いさま推進協議会への参画

・令和7年7月17日　　・令和8年2月12日

〇小学校区程度の協議会への参画

一色小学校区（いちふく） ・令和7年9月29日　　・令和8年1月26日 山西小学校区（たんぽぽささえたい） ・令和7年7月10日　　・令和8年1月28日 二宮小学校区（クローバーの笑・和・輪） ・令和7年7月15日　　・令和8年1月30日 富士見が丘1丁目・ほほえみの会役員会 ・令和7年10月28日　　・令和7年12月23日　　・令和8年1月26日　　・令和8年2月24日

・評価と課題

令和7年度実績		地域の協議体では、「移動支援」をテーマに話し合うことができ町への提言となりました。
第2次計画	位置づけ	4-（4）-3　・生活支援に関わる地域資源とニーズの洗い出し（町連携） ・資源とニーズのマッチングによる必要なサービスの確保と情報提供（町連携）
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・定期的な地域の協議体にて開催。1年間を通したテーマでの話し合いが行え、町への提言へとつながった。 ・生活支援活動グループへの継続的後方支援。 ・民生委員サポートチームへの後方支援。 【未達成事項】 ・地域の協議体の活動の方向性や認識の再確認。 ・地域アセスメント。

○その他

・評価と課題

令和7年度実績		地域の協議体では、「移動スーパー」をテーマに話し合うことができ、買い物難民の方へ 選択肢を増やす議論ができました。
第３次計画	位置づけ	4-（4）-3　・生活支援に関わる地域資源とニーズの洗い出し（町連携） ・資源とニーズのマッチングによる必要なサービスの確保と情報提供（町連携）
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・定期的な地域の協議体にて開催。1年間を通したテーマでの話し合いが行え、町への提言へとつながった。 ・生活支援活動グループへの継続的後方支援 ・民生委員サポートチームへの後方支援 【未達成事項】 ・地域の協議体の活動の方向性や認識の再確認 ・地域アセスメント ・情報発信

2. ヘルパーステーション事業

(1)居宅介護支援事業

①居宅介護支援事業

高齢者が自らの意思にもとづき、自立した質の高い生活が送れるよう、ケアプラン作成等の支援を実施した。

〇介護保険・介護予防プラン作成

単位:件

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	7年度合計	6年度合計	増減
要介護①	61	61	58	58	58	60	59	59	58	60	59	54	705	738	△ 33
要介護②	32	31	33	33	29	30	35	36	37	34	37	40	407	348	59
要介護③	15	14	14	15	15	15	14	14	14	15	14	13	172	197	△ 25
要介護④	14	13	13	14	14	13	14	14	14	12	10	11	156	157	△ 1
要介護⑤	9	9	10	10	8	5	5	5	5	5	7	8	86	82	4
要支援	33	33	30	23	23	22	21	21	23	22	23	24	298	422	△ 124
合　計	164	161	158	153	147	145	148	149	151	148	150	150	1,824	1,944	△ 120

〇住宅改修理由書作成

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	7年度合計	6年度合計	増減
利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

〇要介護認定訪問調査

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	7年度合計	6年度合計	増減
二宮町	2	1	0	0	0	0	2	1	1	2	2	2	13	13	0
他市町	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	5	5	0
合　計	3	2	0	1	0	0	3	1	2	2	3	2	18	18	0

・評価と課題

令和7年度実績		ケアマネジメント業務についての連携を意識し事業所内で協力を図った。他事業との合同事例検討に参加し、職員の資質向上や交流に努めることができた。
第3次計画	位置づけ	4-(3)-1 ・利用者の自立に向けた居宅介護支援の実施 ・介護支援専門員のスキルアップ ・他事業所・他職種との連携による機能強化
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・他事業所との定期の事例検討に参加し対応力の強化につなげられた。 ・業務継続計画(BCP)に基づいた各種訓練(災害時、感染症発生時)の実施。 【未達成事項】 ・各ケアマネジャー毎における個別の課題に対しての積極的な研修参加。

（2）訪問介護事業

①訪問介護事業

自立した日常生活を営むことができるようにホームヘルパーの派遣を行った。

〇ホームヘルパー派遣状況

・介護保険

（訪問介護）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	7年度合計	6年度合計	増減
訪問対象者（人）	34	35	36	35	33	35	29	30	28	25	23	23	366	391	△ 25
身体介護(時間)	244.2	265.5	252.2	242.3	233.3	231.2	230.0	199.0	194.3	145.2	147.3	160.5	2,545.0	2,303.8	241.2
生活援助（時間）	24.5	31.3	32.0	31.3	27.0	29.0	36.3	19.0	16.0	15.0	15.0	17.0	293.4	220.8	72.6
身体＋生活（時間）	127.3	125.3	119.3	126.0	123.0	117.0	96.0	86.3	95.5	76.3	77.0	76.0	1245.0	1351.8	△ 106.9
合　計(時間)	396.0	422.1	403.5	399.6	383.3	377.2	362.3	304.3	305.7	236.5	239.3	253.5	4,083.3	3,876.4	206.9

（介護予防・日常生活支援総合事業）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	7年度合計	6年度合計	増減
要支援1 （人）	5	5	5	4	4	4	4	5	4	4	6	6	56	71	△ 15
要支援2 （人）	6	6	6	6	6	6	8	9	10	10	8	8	89	87	2
合　計	11	11	11	10	10	10	12	14	14	14	14	14	145	158	△ 13
訪問型Ⅰ・Ⅳ（人）	6	8	7	6	6	6	8	8	8	8	8	8	87	103	△ 16
訪問型Ⅱ・Ⅴ（人）	5	3	4	4	4	4	4	5	4	4	4	5	50	55	△ 5
訪問型Ⅲ・Ⅵ（人）	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	1	1	7	0	7
合　計	11	11	11	10	10	10	12	14	14	14	14	14	144	158	△ 14

※訪問型Ⅰ・Ⅳ：週1回のサービス　　訪問型Ⅱ・Ⅴ：週2回のサービス　　訪問型Ⅲ・Ⅵ：週3回のサービス

・障害者総合支援

（居宅介護）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	7年度合計	6年度合計	増減
身体障害者（人）	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	33	3
精神障害者（人）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害者（人）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	12	0
合　計	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48	45	3
身体介護（時間）	66.0	66.3	58.0	57.3	64.3	66.3	56.0	65.3	66.5	66.5	46.2	66.3	744.9	639.0	105.9
家事援助（時間）	17.0	16.0	21.0	26.3	21.0	24.0	25.3	22.0	23.0	22.0	23.0	22.0	262.6	173.5	89.1
合　計	83.0	82.3	79.0	83.6	85.3	90.3	81.3	87.3	89.5	88.5	69.2	88.3	1,007.5	812.5	195.0

（視覚障害者）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	7年度合計	6年度合計	増減
訪問対象者（人）	2	3	2	2	1	1	3	1	2	2	3	3	25	25	0
同行援護　（時間）	19.5	20.00	16.00	14.0	5.0	15.0	11.5	6.5	11.0	13.5	18.5	22.0	172.5	177.0	△ 5
合　計（時間）	19.5	20.00	16.00	14.0	5.0	15.0	11.5	6.5	11.0	13.5	18.5	22.0	172.5	212.5	△ 5

〇パートヘルパー定例会・研修会

毎月１回受講　　平均24名受講

今年度は毎月の定例会で各テーマに沿って、集合研修を行った。また、技術面の向上を図るためにスキル別の技術訓練を行った。また、外部研修も積極的に案内し技術の向上を図った。
新人ヘルパーの指導や実技講習を個々に行った。

・評価と課題

令和7年度実績		訪問介護は利用者の介護ニーズが高まっていたが、ヘルパーの人員不足で訪問介護等の要望に対応できず、サービスの提供時間は減少せざるを得なかった。訪問介護サービスのニーズに幅広く対応していくためには、さらにヘルパーの募集をする必要がある。
第３次計画	位置づけ	4-（3）-1　・サービス提供責任者及びヘルパーのスキルアップ ・町民を対象とした介護講座の実施 ・他事業所・他職種との連携による機能強化 4-（3）-3　・母子家庭等へのホームヘルパー派遣による子育て支援
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・登録ヘルパーを対象とした定例会・研修（月１回）を開催し、スキルアップを図った。ヘルパーの増員ができた。 【未達成事項】 ・職員の研修や資格取得の援助などにより、知識とスキルアップの向上を図り、職員の定着を進める。ヘルパーの増員ができたが、退職者もいた。 ・常勤やヘルパーのサービス稼働が多かったことにより、町民を対象とする介護講座の実施には至らなかった。

②訪問介護自主事業

公的サービスで対応できない内容に対して、ヘルパーを派遣し支援を行った。

令和7年度実績　　80 件　　138,700 円（前年度　30 件　　103,400 円）

内容：家事（掃除、買い物）、通院時の院内付き添いなど

・評価と課題

<table>
<tr><td colspan="2">令和7年度実績</td><td>介護保険適用外の通院介助の依頼が定期的にあった。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第３次計画</td><td>位置づけ</td><td>4-（3）-1　・地域ニーズに沿った新規サービスの検討
・利用しやすい料金の検討</td></tr>
<tr><td>計画の進捗
評価と課題</td><td>【達成事項】
・利用しやすいサービス料により、特に保険適用外の身体介護の依頼の問い合わせが多数あった。
・通院の付き添い、買い物代行が定期的に毎月あった。
【未達成事項】
・新規サービスの検討。</td></tr>
</table>

3. 障害福祉サービス事業

(1)就労継続支援事業

①就労継続支援事業

利用者の日々の生活の向上を目指し、就労支援およびそれに関連する教育指導等の支援を実施しました。

〇利用者の教育指導等の実施状況

実施日			内容	場所	参加数等
令和7年	4月	1日	オリーブ茶葉の摘み取り	福祉ワークセンター駐車場	13名
	4月	2日			9名
	5月	18日	健康コモンズまつり	二宮なのはなハイツ	14名
	5月	23日	福祉事業所合同説明会	平塚総合公園体育館	1名
	6月	23日	健康診断	町民センター	14名
	8月	14日	カンナ夏まつり	カンナカンナ	29名
	9月	17日	避難訓練	カンナカンナ	20名
	9月	27日	ふれあい福祉のつどい(バザー)	生涯学習センターラディアン	6名
	10月	3日	赤い羽根共同募金	JR二宮駅	6名
	11月	16日	よるべ秋まつり(交流会)	コスタ二宮、福祉ワークセンター	19名
	11月	19日	料理教室	保健センター	27名
	11月	28日	インフルエンザ予防接種	カンナカンナ	19名
	12月	27日	忘年会	チャイナガーデン(秦野市)	22名
令和8年	1月	6日	新年会	カンナカンナ	22名
	1月	7日	避難訓練	カンナカンナ	25名
	1月	28日	日帰り研修旅行	埼玉県飯能市	24名
	2月	6日	心身障がい部との交流会	カンナカンナ	30名
	2月	17日	オリーブ茶葉の摘み取り	福祉ワークセンター駐車場	13名
	2月	18日			8名

〇利用状況

- 支援の総日数　248 日
- 作業日数　249 日　(そのうち、土曜開所　11日　平均出席者　7.2人)
- 在籍者数　24 人　(定員1日あたり20人)
- 延べ利用者数　3744 人　(定員20人における稼働率　75.4%)
- 1日の平均利用者数　15.1 人
- 送迎車利用者数　5190 人

- 実習受入日数
  平塚支援学校　高等部　2年生　1名(5日間)

〇ボランティア等実績

- ボランティア延人数　439名(前年度　397名)
  (内訳)　社協・心身障がい部　103名　民生児童委員　25名
  手をつなぐ育成会　71名　一般　240名

- 体験研修(専門学生・大学生・高校生)　1件(4日間×1名)

○カンナカンナ運営委員会の開催

令和7年度　運営委員会　　委員　7名出席

議事 1．令和6年度事業報告
　　2．令和7年度事業計画

○事業収入実績

（単位：円）

月	受託加工	自主製品	古本・バザー品	アルミ缶	合計
4	128,704	450	0	0	129,154
5	132,203	7,200	1,000	0	140,403
6	143,869	400	0	0	144,269
7	197,460	1,000	0	0	198,460
8	128,867	2,850	0	16,380	148,097
9	165,406	4,100	41,010	0	210,516
10	167,125	2,800	8,200	0	178,125
11	182,222	28,800	100	0	211,122
12	205,248	10,000	0	0	215,248
1	169,681	0	200	15,540	185,421
2	155,834	0	1,100	0	156,934
3	176,466	0	0	0	176,466
	1,953,085	57,600	51,610	31,920	2,094,215

受託加工内訳　（単位：円）

相原製作所	1,011,634
内職マーケット	347,737
相洋産業	275,968
中谷商工（秦野）	48,938
オリーブ茶葉摘み取り	35,000
ワープル	181,280
湘南海岸をきれいにする会	20,091
その他	32,437
合計	1,953,085

自主製品内訳　（単位：円）

グリセリンせっけん	44,150
廃食油石けん	6,300
手芸品	7,150
合計	57,600

・評価と課題

令和7年度実績		利用者さんの希望に応じた支援を行い、送迎時間の細分化や利用日数、利用時間の調整を行いました。また、ご本人のペースに合わせた作業内容やペースに配慮し、利用者さんが通所しやすい環境を整えました。また、地域交流の場や作業収入の確保を兼ねて、はらっぱマルシェや健康コモンズまつり等のイベントにも参加しました。利用者の入退所や入院等により、利用者数の変動はあったものの、利用率を維持し、事業の財源となる給付金収入は増加しています。作業収入は昨年度よりも増加したものの、時期によって作業の受注量の変動が大きく、1年を通して安定して受注することが難しい状況です。また、作業の確保や業務の煩雑化により、職員の負担が増加していることが課題となっています。	
第2次計画	位置づけ	4-（3）-2	・支援事業 ・関係機関と連携した周知と事業理解の促進
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・利用者の利用率は改善している。（1日の平均利用者数14.1→15.1（人）） ・地域行事への参加。（はらっぱマルシェやコモンズまつりでの自主製品の販売） 【未達成事項】 ・利用者の日中活動として行っている作業を安定して確保出来ていない。 ・職員の業務負担の軽減方法の検討	

（2）指定特定相談支援事業

①指定相談支援事業

障がい者の適切なサービス利用を図るため、指定相談支援を実施。

・評価と課題

<table>
<tr><td colspan="2">令和7年度実績</td><td>相談支援専門員が不在のため、現在も業務を休止しています。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第２次計画</td><td>位置づけ</td><td>4−（1）−2
・障がい者の抱える課題の解決や適切な公的サービス利用に向けた相談支援
・相談支援専門員のスキルアップ</td></tr>
<tr><td>計画の進捗
評価と課題</td><td>【達成事項】

【未達成事項】
・職員の相談支援専門員の取得。
・事業再開のための職員体制の整備。</td></tr>
</table>

Ⅱ．公益事業

1 令和7年度ともしびショップ売上収入

（1）ともしびショップ運営事業

障がい者の就労支援の場としてともしびショップの運営を行った。

運営委員会の開催（年2回、場所はいずれも二宮町社協　第1会議室、）

令和7年8月20日
議　事　1．令和6年度ともしびショップなのはな収支報告について
2．吾妻山菜の花ウォッチング期間の営業について
3．令和7年度事業計画について

令和7年11月26日
議　事　1．障がい者雇用の状況について
2．二宮町社会福祉大会・ふれあい福祉のつどいについて（報告）
3．吾妻山菜の花ウォッチングについて
4．令和7年度収支状況について（4月～9月）

菜の花ウォッチング参加期間の営業

・平日外での簡易模擬店の実施（甘酒、芋等販売）
・観光協会主催のレシートラリーへ参加
・協賛品への協力

大磯プリンスホテルでの塩海の甘酒等の販売

大磯プリンスホテル内で、お土産等の販売を行っている店舗（㈱フジノネ）に、甘酒、甘酒あめを卸した。
※納品時に現金清算としている。

令和7年度ともしびショップ売上収入

令和7年度売上収入	8,004,235円　（前年度7,246,374円）

・評価と課題

令和7年度実績		障がい者スタッフの教育、指導については、指導項目リストを活用し実施することができた。障がい者の居場所として、ともしびショップは一定の成果を上げている。 菜の花ウォッチング期間中の営業として、平日営業時間中に簡易模擬店を実施した。
第3次計画	位置づけ	基本目標2 施策（3）　障がい者の雇用につなげるため、継続的な就労支援
	計画の進捗評価と課題	【達成事項】 ・ともしびショップは障がい者就労支援のため、また障がい者の居場所として一定の成果を上げている。 【未達成事項】 —

令和７年度地域包括支援センター事業実績報告

【地域包括支援センターの概要】
1. 設置日　平成 23 年 4 月 1 日（平成 23 年度より町直営から社会福祉協議会へ委託）
2. 設置場所　平成 28 年 10 月より、二宮町役場1階
3. 配置職員　社会福祉士（1 名）・主任介護支援専門員（2 名）・看護師（2 名）・
介護支援専門員（2 名）・事務員（1 名）　令和 8 年 3 月 31 日現在
4. 担当業務　①総合相談支援業務（住民からの相談への対応など）
②介護予防ケアマネジメント業務（給付管理・ケアマネジメント）
③権利擁護業務（成年後見制度の活用促進、虐待防止の取り組みなど）
④包括的・継続的ケアマネジメント支援業務（地域ケア会議、
地域ネットワークの構築、ケアマネジャーに対する後方支援）
⑤その他（認知症サポーター養成講座、町民向け講座など）

１．総合相談支援業務

（1）総合相談の受付状況

高齢者やその介護者に対して、面接や訪問、電話による相談を実施し、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切なサービス、関係機関や制度の利用につなげる等の支援を行っている。

新規相談（新規の相談者をカウントしています）
男性:435 件
女性:607 件
不明: 59 件

電話	来所	訪問	メール	その他	合計
683	321	26	10	61	**1101**

相談者と本人との関係

	R7	R6
本人	371	244
同居・親族	201	230
その他の親族	180	198
CM・介護事業所	92	92

	R7	R6
民生委員	60	83
医療機関	81	75
知人等	20	18
その他	96	140
合計	1101	1080

相談内容

	R7	R6
介護保険関連	693	690
生活支援	133	64
町福祉サービス	23	17
認知症関連	72	76
高齢者虐待	19	14

	R7	R6
権利擁護	11	3
支援困難事例	13	13
医療関係	42	29
健康関連	19	26
その他	76	148
合計	1101	1080

(2)休日・夜間帯に電話相談ができる体制整備

対応件数	20 件　（前年度 35 件）

２．介護予防ケアマネジメント業務

（1）介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントの実施(給付管理とケアマネジメント)

要支援 1・2、事業対象に認定された方のケアプラン作成を行っている。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	R7 計	R6 計
介護予防支援	322	324	328	342	336	331	333	343	348	349	350	351	4057	3036
介護予防ケアマネジメント	182	177	177	178	181	187	188	193	193	187	186	187	2216	1822
委託	106	109	110	110	113	111	113	113	113	117	116	116	1347	1252
計	504	501	505	520	517	518	521	536	541	536	536	538	6273	6110

※要支援者数(要支援 1:420 人　要支援 2:373 人)住所地特例・入所を含む　令和 8 年 1 月現在

【委託事業所名】…介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントは一部業務委託が可能となっている。

町内　:社協ホームヘルパーステーション、オリーブケアマネステーション、
鶴巻訪問看護ステーションにのみや居宅介護支援センター、こゆるぎケアデザイン、
高齢者支援センターさくら

大磯町　:介護支援事業所りんどう大磯、介護相談こすもす、
くらしの相談ステーションおおいそ

中井町　:訪問看護ステーション中井

小田原市:エイチエスエー居宅介護支援センター

平塚市　:ケアサポート歩、ハートケア港

秦野市　:つるかめ居宅介護支援センター秦野

３．権利擁護業務

(1)権利擁護相談

町担当課や介護保険事業者などと連携し、単身や認知症の高齢者で支援を要する方を早期に発見し、相談につなげられるように体制を整備している。

権利擁護の相談件数	11 名　（前年度 3 名）

(2)成年後見制度の対応

成年後見制度について、相談対応を実施。また、身寄りがないなどの理由で申し立てが困難な方に対しては、町担当課へつなぎ、町長申し立ての依頼を行っている。

成年後見制度の町長申し立て　依頼件数	3 件　（前年度 1 件）

(3)高齢者虐待対応

高齢者虐待に関する相談内容については、各関係機関と連携をとりながらその対応に取り組んでいる。

高齢者虐待関係の相談・対応人数　　19 名　（前年度 14 名）

４．包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

(1)地域ネットワークの構築

関係機関等と連携を図り、地域ケアのシステムづくりを行なっている。また、大磯町と合同で、介護サービス提供事業者やケアマネジャーなどで組織する連絡会「湘南ウエスト」を年に数回開催し、それぞれの立場からの情報交換を行なっている。

連絡会「湘南ウエスト」 開催回数　　5 回 開催 （前年度 8 回） （全体会 3 回、ケアマネ部会 1 回、ヘルプ部会 0 回、通所部会 0 回、施設部会 1 回） 毎月の役員会開催（大磯町・二宮町地域包括支援センターで事務局担当）

(2)地域ケア会議と介護支援専門員への支援

地域ケア会議の開催とスキルアップの研修の開催を行っている。

地域ケア会議開催回数　　12 回 開催（前年度 12 回）

ケアマネジャースキルアップ事業 … 1 回開催 （前年度 1 回） 研修：主任ケアマネジャーとして必要なスーパービジョン ヘルパースキルアップ事業　　… 0 回開催 （前年度 0 回） 研修：

(3)その他（普及啓発・多職種連携・研修など）

民生委員児童委員協議会定例会出席、地区社協部会との連携、平塚保健福祉事務所との連携、介護保険運営協議会、地域密着型サービス運営協議会、地域密着型サービス運営推進会議、在宅医療・介護多職種協働推進研修会、民サポ、地域の通いの場での講座、地域包括ケアシステム実務担当者会議、精神保健福祉事例相談、神奈川県介護支援専門員研究大会、包括支援センター管理者研修、多職種連携会議、認知症講演会、地域包括連携会議、中郡在宅医療連携支援センター研修会、地域精神保健福祉連絡協議会、認知症サポーター養成講座、にのにんカフェ、認知症サポーターのつどい、介護者のつどい、認知症サポーターステップアップ講座、地域包括ケア会議・地域在宅医療推進協議会合同会議、地域連携会議、認知症地域支援推進員研修、認知症初期集中支援チーム員フォローアップ研修、認知症疾患医療センター研修会、富士見が丘一丁目ほほえみの会、いちふく、たんぽぽささえたい、クローバーの笑・和・輪、湘南大磯病院近隣在宅介護事業所連絡会、社協ゼミナール、地域包括支援センター勉強会（毎月）、打合せ（毎月）、横断連携会議（毎月）

５．その他

(1)町民を対象とした介護予防の普及啓発

介護予防に関する知識の普及・啓発や地域における自主的な活動の育成・支援を実施。

普及活動
地域の通いの場での出前講座
(介護保険、成年後見制度、高齢者に多い病気や怪我、認知症、生活支援)
合計 37 回 (前年度 31 回実施)

(2)認知症サポーター養成講座

認知症を理解し、認知症の方とその家族を温かく見守るため、認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法を住民に伝える認知症サポーターの養成を行っている。

認知症サポーター養成講座 9 回実施 148 名
(前年度 8 回実施 245 名) 令和 7 年度末二宮町認知症サポーター数 4,794 名

(3)町民向け講座の開催

町民向け講座を開催し、介護者支援などを目的としている。

町民向け講座 2 回実施 昨年度 2 回

(4)町給付適正化事業への協力(ケアプランチェック)

法令遵守と適正なサービス提供に向け、町が実施するケアプラン点検に協力。

1 回開催 (町内全居宅介護支援事業所)

(5)町高齢者サービス実態調査

町からの依頼で、訪問などで面談し、実態把握を行っている。

移送サービス 0 名(前年度 1 名) ほっと安心ヘルパー 0 名(前年度 0 名)
紙おむつ支給事業 0 名 (前年度 0 名) 合計 0 名 (前年度 1 名)

(6)各種運営協議会

介護保険運営協議会・地域密着型サービス運営協議会・地域包括支援センター運営協議会に出席。

介護保険運営協議会	2 回	(前年度 2 回参加)
地域密着型サービス運営協議会	2 回	(前年度 2 回参加)
地域包括支援センター運営協議会	2 回	(前年度 2 回参加)

(7)介護保険認定調査

町からの依頼で認定調査(更新者)を行っている。

1件 (前年度3件)

・評価と課題

令和7年度実績		地域ケア会議では「自立支援に資する個別ケア会議」として多職種の専門的な視点に基づく助言を通じて、自立支援に資するケアマネジメントの視点やサービス等の提供に関する知識・技術を習得できた。また「身寄りのない高齢者支援」「災害」をテーマに事例検討を行い、今後に備えに対する意識を高めることができた。地域の通いの場での出前講座では内容をブラッシュアップし開催できた。介護保険業務ではケアプランデータ連携システムの導入により効率化が図れた。	
第2次計画	位置づけ	第4章 基本目標2 施策(5)	・地域課題の解決に向けた取り組みなどを通して、地域包括支援センターの機能強化 ・地域包括ケアシステムの中核組織としてのネットワーク強化 ・総合相談窓口としての機能強化 ・町民や民生委員児童委員等と連携し、町民への総合相談の周知や介護予防等の情報提供
	計画の進捗 評価と課題	【達成事項】 ・関係団体と相互に連携することができた。 ・地域ケア会議を毎月開催し関係機関とのネットワークが強化できた。 ・町民向け講座を年2回開催し多くの町民に参加いただいた。 ・通いの場での出前講座も内容を更新し開催できた。 ・総合相談窓口として啓発し電話や窓口以外にメールでの相談も増えた。 ・ケアプランデータ連携システムを活用し、業務の効率化が図れた。 【未達成事項】 ・ヘルパーの資質向上を目的としたスキルアップ研修の開催。	

令和7年度　認知症地域支援・ケア向上事業

認知症地域支援推進員を中心に、地域における認知症対応力の強化や、支援体制の構築を図る。

①医療・介護等の支援ネットワークの構築

・令和7年6月12日　認知症医療疾患センター研修　参加
・令和7年6月24日　管内認知症施策及び認知症等行方不明SOSネットワーク担当者会議　出席
・令和8年3月16日　認知症地域連携会議（秦野厚生病院）　出席

②認知症対応力向上のための支援

・地域ケア会議にて、認知症高齢者の対応について事例検討
・令和7年5月30日　民生委員児童委員協議会高齢者部会にて認知症について研修
・令和7年11月19日　社協ホームヘルパーステーション定例会にて認知症について研修

③相談支援の実施・支援体制の構築

・認知症相談（72件）
・にのにんカフェの開催（計23回）
　ラディアン（9回）/二宮町社会福祉協議会（2回）/コミュナルダイニング（10回）/デニーズ（1回）
　うち、2回はかながわオレンジ大使をお招きしイベントを開催
（一緒に歌おう/松浦謙一さん、コラージュワークショップ/伊藤敬子さん）
　ペルルカフェ（　12回）　　どうぞカフェ（　2回）
・認知症初期集中支援チームへの参画
・認知症総合支援事業打ち合わせ（4回）
・通いの場にて認知症講座（7回）
・認知症サポーター養成講座開催（9回）
・認知症サポーター事業所向けステッカー配布（4ヶ所）
・認知症サポーターステップアップ講座開催（1回）
・認知症サポーターのつどい（6回）
・世界アルツハイマー月間イベント
　役場ロビーにて認知症啓発コーナー設置・ロバ隊長のマスコットづくりとディスプレイ
　図書館にて認知症関連書籍配架・ともしびショップにて認知症予防メニュー提供
　福祉講演会「ぼけますから、よろしくお願いします。」講師：映画監督　信友直子氏

④その他

・令和7年7月7日「チームオレンジコーディネーター研修　参加
・令和8年1月7日　認知症カフェ交流会（平塚美術館）　参加
・令和8年2月13日　チームオレンジ意見交換会　参加
・令和8年2月18日　認知症地域支援推進員現任研修　参加
・大磯二宮地区認知症等行方不明SOSネットワーク事業　登録者数　54名（うち障がい児　2名含む）
・行方不明者（町で把握できているもの）　4名（うち未解決　0名）

令和7年度認知症サポーター養成講座

日付	対象	人数

令和7年4月8日	二宮町職員	6
令和7年4月22日	鈴木歯科矯正歯科職員	15
令和7年5月13日	横浜銀行二宮支店行員	5
令和7年5月14日	二宮町商工会職員	5
令和7年6月2日	デニーズ二宮店スタッフ	5
令和7年8月1日	夏休み福祉体験参加者	8
令和7年9月10日	障害者GH湘南ペルル職員	13
令和7年11月9日	二宮町民	23
令和7年11月14日	二宮町立二宮西中学校	67

計　148

令和7年度末二宮町認知症サポーター数　4,794名